

中央労働金庫


〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台2-5

☎03-3293-1611(代)

<http://chuo.rokin.com>

商品・サービスについてのお問い合わせ

ハロー 〈ろうきん〉コール
 0120-86-6956

(営業時間:月~金9:00~18:00/土日祝休)

表示について

- 当金庫においては中間決算は法定されていませんので、会計監査人監査の対象となっておりません。表示の計算値等は、内部規定に基づき期末決算(3月末)に準じて算出した概算値です。
- 本誌に記載した計数等は、原則として表示単位未満の端数を切り捨てています。このため、科目の合計数値と合計欄の数値が一致しないことがあります。また、比率等は原則として小数点第3位を切り捨てて、第2位までを表示しています。



〈中央ろうきん〉 2017年9月期 仮決算のご報告 REPORT



この冊子はFSC認証紙および環境にやさしい植物油インキを使用し、印刷工程で有害廃液を出さない水なし印刷方式で印刷しています。また、環境に配慮し、綴じ金具を使わずに製本を行っています。

〈中央ろうきん〉の基本姿勢

〈中央ろうきん〉の最新情報をお届けします。

この冊子は〈中央ろうきん〉の2017年度仮決算(2017年4月1日から同年9月30日)における経営内容をとりまとめたものです。〈中央ろうきん〉では経営状況を正確に把握して堅実な経営を行うため、決算経理要領等の内部規定に基づき、期末決算(3月末)に準じた仮決算を行っています。仮決算内容の開示は法的に義務づけられたものではありませんが、〈中央ろうきん〉の最新の経営内容を広く会員・利用者の皆様にご理解いただけるよう、自主的に行うものです。

〈ろうきん〉は、働く人の豊かな暮らしを応援します。

働く人のための金融機関です

〈ろうきん〉は、働く仲間がお互いを助け合うために作った協同組織の金融機関です。働く人たちの暮らしを支え、快適な社会づくりに寄与することをめざしています。

営利を目的としない金融機関です

〈ろうきん〉は、営利を目的とせず、公平・民主的に運営されています。この運営が共感を呼び、全国で1,000万人の方々にご利用されています。

生活者本位の金融機関です

〈ろうきん〉は、皆様の暮らしを第一に考えた商品・サービスをご提供しています。また、お預かりした預金は働く仲間のより豊かな暮らしのために役立てられています。

■〈ろうきん〉の目的や事業の原則は法律で定められています。

労働金庫法は、労働金庫及び労働金庫連合会の設立、組織・事業等に関する根拠法です。

労働金庫法には、目的(第1条)や事業の原則(第5条)をはじめ、金庫運営全般に関する規定がおかれています。

〈中央ろうきん〉の概要

(2017年9月末現在)

名称	中央労働金庫	常勤役員数	2,938人
代表者	理事長 松迫 卓男	総預金残高	6兆199億円
本店所在地	東京都千代田区神田駿河台2-5	貸出金残高	3兆8,879億円
電話番号	03-3293-1611(代)	設立	1952年4月25日 (2001年4月1日合併)
ホームページ	http://chuo.rokin.com	事業エリア	茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨
店舗数	148店舗		
	本支店 129		
	出張所 17		
	仮想店舗 2		

〈中央ろうきん〉のCSR

〈中央ろうきん〉はCSRを経営課題の一つと位置づけ、「ろうきんらしい」「ろうきんならではの」CSR活動を展開するため、『CSR基本方針』を制定しております。

〈中央ろうきん〉のCSR基本方針(概要)

大切にしたいこと - CSR Value -

I 会員・組合員とともに

—〈ろうきん〉の原点—

〈中央ろうきん〉は、共助の資金循環を通じて「共生社会」の実現をめざす、〈ろうきん〉の原点を大切にします。

II 地域社会とともに

—地域社会との対話—

〈中央ろうきん〉は、人と人、人と地域とのつながり・共感を醸成する地域社会との対話を大切に、働く人を取り巻く社会的課題の解決に取り組みます。

III 金庫職員とともに

—職員の働きがい・自己実現—

〈中央ろうきん〉は、職員一人ひとりの働きがいや自己実現を大切に、活気溢れる組織づくり・組織運営に取り組みます。



○ CSR経営を実践するための取り組み

「働く人の助け合いの協同組織金融機関」である〈中央ろうきん〉の主なステークホルダーは、会員・組合員、地域社会、金庫役職員です。とりわけ、金庫役職員は「ろうきんの理念」の体現者であり、「CSR経営」についての理解を深めることが必要不可欠です。

2017年2月に、全役職員を対象とした「CSR(金庫の社会的責任)に関するアンケート」を実施し、役職員のCSRに関する認知度・理解度を調査しました。

2017年度は、集約したアンケート結果を庫内報やイントラネットを活用してフィードバックし、役職員一人ひとりが日常業務をCSR(社会的責任)の視点でとらえられるよう、情報発信に努めています。



庫内報



CSR通信

預金・貸出金ともに、多くの皆様にご利用いただいています。

○預金・貸出金残高

〈中央ろうきん〉の総預金残高（譲渡性預金を含む）は上半期中に1,338億円増加し、**6兆199億円**となりました。このうち、個人預金は892億円増加し、4兆5,661億円となりました。

一方、貸出金残高は上半期中に1,068億円増加し、**3兆8,879億円**となりました。

その結果、2017年9月末の預貸率は、64.58%となりました。

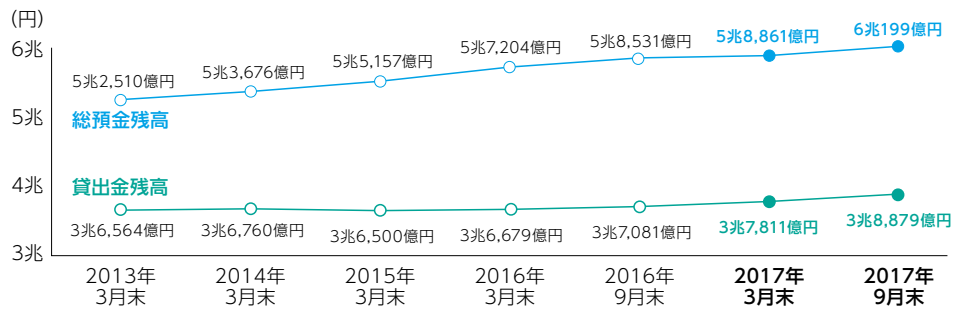
総預金残高
6兆199億円

※2017年9月末

貸出金残高
3兆8,879億円

※2017年9月末

総預金・貸出金残高の推移



〈中央ろうきん〉と全国ろうきんの概要

(2017年9月末)

	中央ろうきん	全国ろうきん(13金庫)
総預金残高	6兆199億円	19兆6,627億円
貸出金残高	3兆8,879億円	12兆4,457億円
出資金	291億円	955億円
団体会員数	12,760会員	52,158会員
間接構成員数	3,517,191人	10,753,335人
常勤役員数	2,938人	11,478人
店舗数	148店舗 ^(注)	632店舗

(注)〈中央ろうきん〉の店舗数には、仮想店舗(インターネット中央支店・中央ふれあい第一支店)を含みます。

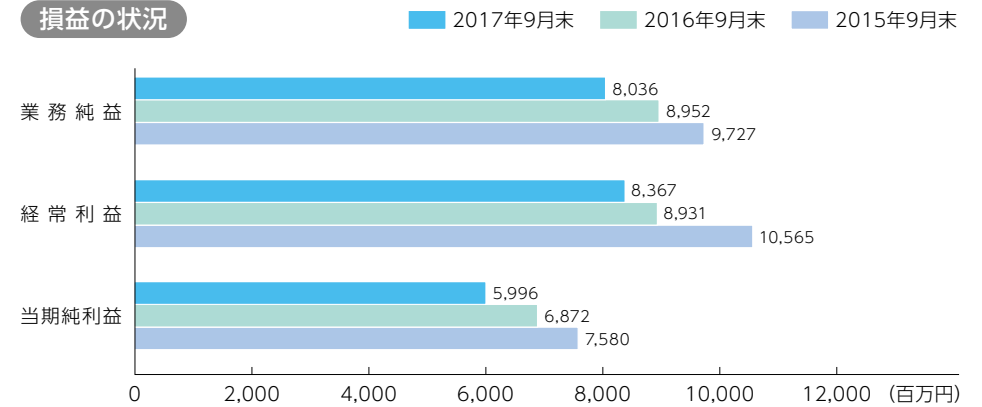
※全国ろうきんは速報値

○損益の状況

貸出金残高が伸長したものの、貸出金利回りの低下による預貸金利息収支の減少を主因に資金利益が減益となったことにより、コア業務純益は前年同期比5億円減益の76億円となりました。また、債券売却損益を考慮した業務純益では同9億円減益の80億円となりました。

経常利益は前年同期比5億円減益の83億円となり、最終の当期純利益は同8億円減益の59億円となりました。

損益の状況



お預かりした預金の使い道

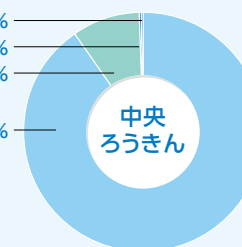
〈中央ろうきん〉は、営利を目的としない金融機関です。皆様からお預かりした預金の使い方も一般の銀行とは違います。銀行が60%以上を企業に融資しているのに対し、〈中央ろうきん〉は、99.50%と、そのほとんどを個人のおお客様にご融資。働く人たちの生活に役立てられています。

個人のおお客様へのご融資
(生活資金+一般住宅資金)
99.50%

●貸出金の使途別割合

生協資金 0.02%
福利共済資金 0.47%
生活資金 9.18%

一般住宅資金 90.32%



●銀行融資の貸出先別割合

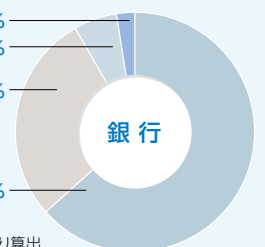
その他 2.32%
地方公共団体 5.92%

個人 28.29%

企業 63.45%

※2017年3月末現在

日本銀行統計データより算出



※2017年9月末現在

〈中央ろうきん〉の健全性

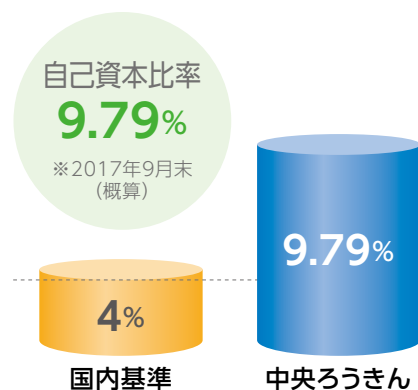
経営体力を強め、健全性の保持に努めています。

○ 経営体力

自己資本比率は、金融機関の自己資本の状況が適当であるかどうかを判断するための基準として法令により定められた指標です。

〈中央ろうきん〉のように国内業務のみを行う金融機関の自己資本比率は法令で4%以上(国内基準)であることが求められています。

〈中央ろうきん〉の2017年9月末の自己資本比率は**9.79%**(概算)となっています。つまり、安心してお取引いただける金融機関であることを表しています。



単体自己資本比率

項目	2017年9月末(概算)	2017年3月末	2016年9月末(概算)
コア資本に係る基礎項目の額 (A)	286,052	279,851	280,694
コア資本に係る調整項目の額 (B)	763	699	371
自己資本の額 (A)-(B)=(C)	285,289	279,152	280,323
リスク・アセット等の額の合計額 (D)	2,912,616	2,808,028	2,724,541
自己資本比率 (C)/(D)	9.79%	9.94%	10.28%

(注) 当金庫においては中間決算は法定されておりませんが、内部規定に基づき期末決算(3月末)に準じた仮決算を行っており、ます。上記の2017年9月末(概算)の自己資本比率はこの仮決算結果に基づいて算出した概算値です。

○ 経営の健全性

経営の健全性をはかる一つの指標としてリスク管理債権比率があります。リスク管理債権とは、何らかの理由により約定どおりの返済が困難な取引先に対する貸出金のことです。リスク管理債権比率とは、貸出金残高に対してリスク管理債権額がどれだけあるかを示したものです。この比率が低いほど、資産の健全性が高いことを示しています。〈中央ろうきん〉の2017年9月末のリスク管理債権比率は**0.65%**(概算)とわけて低く、健全性の高さが数値に表れています。

リスク管理債権比率
0.65%
※2017年9月末(概算)

リスク管理債権比率

項目	2017年9月末(概算)	2017年3月末	2016年9月末(概算)
破綻先債権 (A)	979	1,175	1,354
延滞債権 (B)	23,060	22,769	23,092
3ヵ月以上延滞債権 (C)	1,007	839	1,086
貸出条件緩和債権 (D)	579	587	645
リスク管理債権合計 (A)+(B)+(C)+(D)=(E)	25,626	25,371	26,179
貸出金残高 (F)	3,887,980	3,781,150	3,708,175
リスク管理債権比率 (E)/(F)	0.65%	0.67%	0.70%

金融再生法ベースの開示債権

債権区分	2017年9月末(概算)	2017年3月末	2016年9月末(概算)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権 (A)	6,073	6,078	6,013
危険債権 (B)	18,611	19,039	19,677
要管理債権 (C)	1,586	1,427	1,732
金融再生法ベースの開示債権合計 (A)+(B)+(C)=(D)	26,271	26,545	27,423
正常債権 (E)	3,867,086	3,758,871	3,685,133
合計 (D)+(E)=(F)	3,893,357	3,785,416	3,712,556
金融再生法ベースの開示債権比率 (D)/(F)	0.67%	0.70%	0.73%

(注) 金融再生法ベースの開示債権では、貸出金のほか、債務保証見返、与信関係未収利息、仮払金等を含みます。

働く人たちの金融機関として 経営基盤の充実に努めています。

貸借対照表

(単位:千円)

科目	2017年9月末	2017年3月末
現金	33,556,520	34,691,629
預金の信託	2,054,424,749	1,883,573,617
有価証券	2,064,263	2,006,780
貸出金	621,147,816	601,867,798
その他資産	3,887,980,653	3,781,150,766
有形固定資産	45,579,264	43,928,814
無形固定資産	36,768,474	36,584,975
前払年金費用	710,918	739,047
債務保証見返	561,412	426,353
貸倒引当金	1,266,900	1,878,490
(うち個別貸倒引当金)	△9,405,568	△9,334,480
(△1,501,579)	(△1,501,579)	(△1,636,414)
資産の部合計	6,674,655,406	6,377,513,792
預金積金	5,475,218,431	5,379,176,690
譲渡性預金	544,734,069	506,964,624
借入金	305,915,981	148,700,000
その他負債	22,578,748	21,170,778
代理業務勘定	51,553	45,411
賞与引当金	1,820,167	1,754,729
退職給付引当金	16,317,362	15,661,009
睡眠預金払戻損失引当金	457,609	457,609
繰延税金負債	2,598,909	2,457,477
再評価に係る繰延税金負債	1,733,758	1,736,800
債務保証	1,266,900	1,878,490
負債の部合計	6,372,693,492	6,080,003,621
出資	29,142,106	29,148,275
優先出資申込証拠金	-	-
資本剰余金	-	-
利益剰余金	247,653,886	243,732,774
純資産の部	29,332,478	29,332,478
その他利益剰余金	218,321,408	214,400,296
特別積立金	210,605,534	203,605,534
当期末処分剰余金	7,715,873	10,794,761
役員勘定剰余金	276,795,992	272,881,049
その他有価証券評価差額金	24,351,620	24,152,479
繰延ヘッジ損益	△1,746,230	△2,091,746
土地再評価差額金	2,560,530	2,568,387
評価換算差額等合計	25,165,921	24,629,120
純資産の部合計	301,961,913	297,510,170
負債及び純資産の部合計	6,674,655,406	6,377,513,792

●預金種類別構成比



●有価証券の種類別構成比



損益計算書

(単位:千円)

科目	2017年度仮決算	2016年度仮決算
経常収益	42,657,151	43,626,292
資金運用収益	37,169,736	38,525,043
(うち貸出金利息)	(27,593,259)	(28,631,580)
(うち有価証券利息配当金)	(3,154,753)	(3,318,267)
役員取引等収益	1,827,806	1,787,653
その他の業務収益	3,020,663	2,888,279
その他の経常収益	638,944	425,314
経常費用	34,290,133	34,694,726
資金調達費用	2,462,068	3,139,323
(うち預金利息)	(1,749,156)	(2,276,670)
役員取引等費用	5,624,689	5,269,136
その他の業務費用	42,894	9,755
経常経常費用	25,907,879	26,128,806
その他経常費用	252,601	147,705
経常利益	8,367,018	8,931,565
特別利益	3,246	401,235
特別損失	22,902	70,145
税引前当期純利益	8,347,362	9,262,656
法人税、住民税及び事業税	2,423,243	2,481,468
法人税等調整額	△72,567	△91,389
法人税等調整額合計	2,350,675	2,390,078
当期純利益	5,996,687	6,872,577
繰越金(当期首残高)	1,711,329	2,468,817
土地再評価差額金取崩額	7,857	35,281
当期末処分剰余金	7,715,873	9,376,676

有価証券の時価情報

貸借対照表に時価を反映させるもの

(参考) (単位:百万円)

項目	2017年9月末				2017年3月末				2016年9月末			
	時価	評価差額	うち益	うち損	時価	評価差額	うち益	うち損	時価	評価差額	うち益	うち損
その他有価証券	621,019	33,783	36,395	2,611	601,739	33,507	36,328	2,820	589,242	38,333	42,985	4,652
株式	18,824	1,604	2,072	467	17,531	855	1,670	815	17,066	△1,165	426	1,591
債券	537,473	29,474	29,771	296	521,778	29,716	30,189	472	511,794	39,183	39,349	165
その他の証券	64,721	2,704	4,551	1,846	62,430	2,935	4,467	1,532	60,382	314	3,209	2,894
うち外国証券	50,155	3,572	4,488	916	47,131	2,639	3,899	1,259	44,560	△177	2,427	2,604

(注1) 「評価差額」及び「うち益・損」は、帳簿価額(償却原価法適用後、減損処理後)と時価との差額を計上しています。

(注2) 売買目的有価証券については該当ありません。

貸借対照表に時価を反映させないもの

(参考) (単位:百万円)

項目	2017年9月末				2017年3月末				2016年9月末			
	帳簿価額	含み損益	うち益	うち損	帳簿価額	含み損益	うち益	うち損	帳簿価額	含み損益	うち益	うち損
満期保有目的の債券	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
譲渡性預け金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
子会社・子法人等株式	115	-	-	-	115	-	-	-	115	-	-	-
非上場株式	13	-	-	-	13	-	-	-	13	-	-	-

(注3) 「含み損益」及び「うち益・損」は、帳簿価額(償却原価法適用後、減損処理後)と時価との差額を計上しています。

〈中央ろうきん〉の商品・サービスのご案内

多彩な商品・サービスで、皆様の暮らしをサポートします。

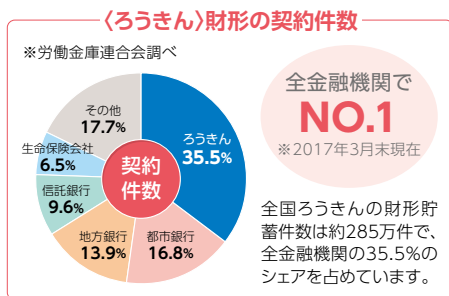
○〈中央ろうきん〉の財形貯蓄

財形貯蓄は、「一般財形」「財形住宅」「財形年金」の3タイプ。便利な一般財形と有利な非課税財形(住宅・年金)とのセット契約で、将来の資金づくりにお役立てください。

(注)お勤め先によりご利用いただけない場合があります。

商品名	期間	ご利用のポイント
財形貯蓄		
一般財形	3年以上	積立を継続しながら、1年たてば必要な額を払い戻すことが可能。
財形住宅*	5年以上	住宅の新築・購入・増改築の資金に。
財形年金*	5年以上	将来に備えた私的年金の形成に。

*財形住宅と財形年金を合わせて、550万円までの貯蓄残高のお利息に税金がかかりません。



○キャッシュバックサービス

■カード引出し手数料

他行等ATM・CDご利用時のカード引出し手数料をキャッシュバック!

〈中央ろうきん〉のキャッシュカードでゆうちょ銀行・銀行・コンビニ等のATM(※)・CDから引出しされた場合、所定の利用手数料がかかりますが、この手数料を即時にお客様の〈中央ろうきん〉ご利用口座へお戻しします。

サービス概要

対象取引	・普通預金口座・貯蓄預金口座の引出し ・カードローン(マイプラン・教育ローン[カード型])の引出し
キャッシュバック回数	制限はありません。
キャッシュバック時期	即時にお客様の〈中央ろうきん〉ご利用口座へ入金します。

■振込手数料(インターネット/モバイルバンキング)

インターネット/モバイルバンキングによる振込手数料をキャッシュバック!

給与振込または年金受取を〈中央ろうきん〉にご指定の方が、インターネット/モバイルバンキングで振込された場合にかかる振込手数料を、普通預金口座へお戻しします。

サービス概要

対象取引	インターネット/モバイルバンキング(普通預金)による、〈中央ろうきん〉本支店及び他行への振込。ただし、給与振込または年金受取を〈中央ろうきん〉にご指定いただいている方に限ります。
キャッシュバック回数	お1人様あたり1ヵ月につき、日付・時刻の早い順に3回までとなります。
キャッシュバック時期	振込手数料は毎月分をまとめて、翌月20日(休業日の場合は前営業日)に、お客様の〈中央ろうきん〉普通預金口座へ入金します。

※当金庫のシステムにて判定可能なご契約に限りです。

※個人のお客様が対象となります。

―(注)ATM利用提携―

〈中央ろうきん〉のキャッシュカードは、全国の金融機関やコンビニのATM(※)でご利用いただけます。

(*)MICS加盟の金融機関(都銀、信託銀行、地銀、信金、信組、JA等)ならびにゆうちょ銀行、セブン銀行、イオン銀行、ビューカード(ビューアルッテ)、コンビニ(イーネット、LANs(ローソンATM)他)のATM・CDで「お引出し」などができます。

※ATMが設置されていない地域・店舗もあります。また、ATMの稼働時間は、設置場所によりお取扱いが異なる場合があります。

○住宅ローン(不動産担保ローン)

人生の大きな目標であるマイホーム購入、現在の生活スタイルに合わせたリフォーム計画、他の金融機関からの住宅ローンの借換え等、皆様のマイホームライフを応援します。

〈中央ろうきん〉住宅ローン3つのメリット

一部繰上げ返済手数料無料

※全額繰上げ返済は手数料が必要になる場合があります。

金利引下げ制度

※金利引下げの適用には条件があります。

最高1億円までの
団体信用生命保険つき
※融資額の範囲内となります。

商品名	融資金額	期間	ご利用のポイント
住宅ローン	最高1億円	最長35年	マイホームの新築・購入・増改築資金等にご利用いただけます。
借換・買替ローン	最高1億円	最長35年	住宅ローンの借換えや自宅の買替えの資金にご利用いただけます。
住宅ローン「フラット35」	最高8,000万円	15年~35年	住宅の建設資金、新築・中古住宅の購入資金や、住宅ローンの借換え資金にもご利用いただけます。

○カードローン(マイプラン)

いざという時の急な出費から、旅行・ショッピング等の費用まで、ご融資限度額(極度額)の範囲で繰り返しご利用いただけます。

商品名	融資金額	期間	ご利用のポイント
マイプラン	最高500万円 (所属会員により異なります)	1年毎の自動更新	融資限度額(極度額)の範囲で繰り返し利用できるカードローン。旅行やショッピングなどお使いみちは自由。また提携施設で割引サービスが受けられます。※事業資金・投機目的にはご利用いただけません。※他行、他社資金からの借換えも団体会員の皆様に限り、2018年3月末までご利用いただけます。※提携施設については、〈中央ろうきん〉ホームページでご確認いただけます。

○無担保ローン

〈中央ろうきん〉では、「カーライフローン」「教育ローン」「リフォームローン」「無担保住宅借換ローン」等、多彩な無担保ローンをご用意し、皆様のライフステージごとの夢の実現を応援します。

商品名	融資金額	期間	ご利用のポイント
カーライフローン	最高1,000万円	最長10年	マイカーに関する費用(購入・修理・車検費用等)や、他行の自動車ローンの借換え等にご利用いただけます。
教育ローン(注)(カード型)	最高1,000万円	最長20年 (カードローンご利用期間(最長7年)を含みます)	小学校から大学・専門学校までの受験料や入学金、授業料等に、また他金融機関等の教育ローンや教育関連融資の借換え費用にもご利用いただけます。
教育ローン(証書貸付型)	最高2,000万円	最長15年 (元金返還期間(最長5年)を含みます)	※資金使途が借換え資金のみの場合は、証書貸付型にてお申込みください。
リフォームローン	最高2,000万円	最長20年	マイホームのリフォーム・増改築資金から、購入資金にもご利用いただけます。また、セカンドハウスの購入や、2親等以内の親族が所有し、かつ居住する住宅のリフォーム資金などにもご利用いただけます。
無担保住宅借換ローン	最高2,000万円	最長20年	公的機関ならびに銀行・生命保険会社・信販会社等の金融機関、勤務先事業所、共済組合の住宅関連ローンの借換え資金(借換えに伴う諸費用も含む)にご利用いただけます。また、借換え資金(借換えに伴う諸費用も含む)と併せて、リフォーム資金にもご利用いただけます。※リフォーム資金のみは、ご利用いただけません。

(注)教育ローン(カード型)は、団体会員または生協会員の方のみのお取扱いとなります。

上記以外にも各種商品・サービスをご用意しています。お気軽に〈中央ろうきん〉営業店またはお客様相談デスク ☎0120-86-6956(受付時間:平日9:00~18:00、土・日・祝日休)までお問い合わせください。

(2017年10月現在)